

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12 生活不安を少なくする	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	1 生活を援助する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	1201 困窮時、災害時の生活を支援する	【基本計画区分】	203【担当課】 4824000 福祉事務所

【目的】	生活の困窮する者に対して最低限度の生活を保障する。また、災害時において罹災した者の更生意欲向上を図るために援助する。	【背景】	生活保護制度については、社会保障審議会において検討されている。今後、社会経済情勢、家族形態の変貌等に対応するため、生活保護基準や制度・運用の在り方の見直しと就労支援事業活用プログラム等の推進を図る。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
		【今後の課題】	生活保護担当職員の配置数保護の長期化を防ぐための取組み生活保護受給者等への就労支援	120101	生活保護決定・実施事業	コスト改善 生活保護担当職員の配置数保護の長期化を防ぐための取組み生活保護受給者等への就労支援
				120102	生活保護法による各種扶助費	
				120103	法外援護費	
				120104	低所得世帯援護事業	
				120105	高等学校進学支度費等援護費	
				120106	罹災者支援事業	
				120107	災害援護資金貸付金	
				120108	原爆被爆者援護事業	
				120109	募金活動事業	

【重要性】
生活保護は、生活困窮に対し、その困窮の程度に応じて必要な保護を行い、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長することを目的としている。

【現状分析】
本市の生活保護の保護率は平成12年度からは増加率が著しく、平成20年4月1日現在では12.26%となっています。平成17年度ほどの「伸び率」はないものの、増加傾向は止まらない状況にあると考えられます。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
生活保護率			0	11.3	0	0	0
(%)			0	10.15	11.21	11.78	12.26
()			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	12 生活不安を少なくする	【施策】	1 生活を援助する
【基本事務事業】	1201 困窮時、災害時の生活を支援する	担当課:	4824000
【事務事業】	120101 生活保護決定・実施事業	福祉事務所	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	被保護世帯の最低生活費の保障と自立支援のための助言・指導を行い生活保護世帯の自立を図る	【指標】	被保護世帯数(世帯)	【指標概要】	保護開始と保護廃止の差引きにより決定	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		()				2639	2933	3181	3438	3699	計画額	19,651	26,300	28,157	29,082	41,194
						2639	2933	3177	3477	3713	(一般財源)	19,651	26,300	28,157	29,082	33,198
											予算額	19,651	26,300	28,157	43,228	64,676
											(一般財源)	19,651	26,300	28,157	35,232	28,719
											決算額	17,169	24,444	26,412	34,001	54,136
											職員数	32.32	36.82	39.42	41.45	44.25
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】	最低限度の生活を営むことができない生活困窮者	()				0	0	0	0	0	【業務】	ケースワーク業務				
						0	0	0	0	0	面接相談業務					

【定量分析】: 課題・現状分析

平成18年9月より専任の就労相談員1名を配置し、被保護者の就職活動の指導等を実施し自立に向けた支援を行い、生活保護扶助費の削減に努めた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

生活保護を適正に実施するため、職員の資質の充実及び援助技術の向上を図り、平成17年度から導入された「自立支援プログラム」を活用しての「就労支援プログラム」等の策定により組織的な取り組みを図る。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12	生活不安を少なくする	【施策】	1	生活を援助する									
【基本事務事業】	1201	困窮時、災害時の生活を支援する	担当課:	4824100										
【事務事業】	120106	罹災者支援事業	福祉事務所・援護担当室	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					203 戦略区分									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
災害により罹災した者に対し一時的な宿泊施設の提供、見舞金の支給をし更正意欲の向上を図る。	援護者数(人)	援護者数	3	3	3	3	3	計画額	2,000	2,000	2,452	2,452	2,452	
			49	109	29	26	20	(一般財源)	2,000	2,000	2,452	2,452	2,452	
									予算額	2,000	2,000	2,452	2,452	2,452
									(一般財源)	2,000	2,000	2,452	2,452	2,452
									決算額	1,620	3,370	1,245	1,073	771
(0)			0	0	0	0	職員数	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
							単位) 事業費：千円 職員数：人							
(0)			0	0	0	0	【業務】	災害見舞金 緊急一時宿泊施設提供業務						
			0	0	0	0	【指標値】上段：予算目標 下段：実績							
【対象】	災害により罹災した市民		【定量分析】：課題・現状分析					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
			被災者に対し、宿泊施設提供及び見舞金支給を迅速に行った。					被災者に対し、宿泊施設の提供及び見舞金支給を行い、被災者の生活不安等の解消に努めていく。						

【政策】	12	生活不安を少なくする	【施策】	1	生活を援助する									
【基本事務事業】	1201	困窮時、災害時の生活を支援する	担当課:	4824100										
【事務事業】	120107	災害援護資金貸付金	福祉事務所・援護担当室	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					203 戦略区分									
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
自然災害により被害を受けた世帯の世帯主に対する災害援護資金の貸付金を行い、市民の福祉及び生活の安定に資する。	援護者数(人)	援護者数	10	10	10	10	10	計画額	1	1	1	1	1	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1	1	1	1	1	
									予算額	1	1	1	1	0
									(一般財源)	1	1	1	1	0
									決算額	0	0	0	0	0
(0)			0	0	0	0	職員数	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4		
							単位) 事業費：千円 職員数：人							
(0)			0	0	0	0	【業務】							
			0	0	0	0	【指標値】上段：予算目標 下段：実績							
【対象】	自然災害により被害を受けた世帯		【定量分析】：課題・現状分析					【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
			自然災害により被害を受けた世帯の世帯主に対し、資金の貸付を行う。					自然災害により被害を受けた世帯の世帯主に対する資金の貸付を行い、被害者の生活安定に資する。						

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12	生活不安を少なくする	【施策】	1	生活を援助する									
【基本事務事業】	1201	困窮時、災害時の生活を支援する	担当課:	4824100										
【事務事業】	120108	原爆被爆者援護事業	福祉事務所・援護担当室	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					203 戦略区分									
【目的】	見舞金を支給することにより、被爆者の福祉増進を図る。	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		受給者(人)	受給者	245	231	230	230	230	計画額	2,160	2,160	2,160	2,160	2,000
				232	231	224	216	208	(一般財源)	2,160	2,160	2,160	2,160	2,000
									予算額	2,160	2,160	2,160	2,000	2,000
									(一般財源)	2,160	2,160	2,160	2,000	2,000
		(0)		0	0	0	0	0	決算額	1,856	1,848	1,792	1,728	1,664
				0	0	0	0	0	職員数	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
									単位) 事業費：千円					
									職員数：人					
		(0)		0	0	0	0	0	【業務】					
				0	0	0	0	0						
【対象】	松戸市在住の原爆被爆者								【指標値】	上段：予算目標	下段：実績			
									【定量分析】：課題・現状分析					
									原子爆弾の被爆者に対し、見舞金を支給することによって福祉の増進を図る。					
									【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
									将来的には対象者が減少するため、制度の見直しの検討が必要。					

【政策】	12	生活不安を少なくする	【施策】	1	生活を援助する									
【基本事務事業】	1201	困窮時、災害時の生活を支援する	担当課:	4824100										
【事務事業】	120109	募金活動事業	福祉事務所・援護担当室	会計区分	一般会計									
				計画区分	一般事業									
					203 戦略区分									
【目的】	地域の住民や団体・関係機関のたすけあいの精神によって地域の援護活動を推進していく。	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
		募金額(千円)	募金額	99100	98940	98830	83410	87010	計画額	0	0	0	0	0
				88226	91470	84091	88891	80812	(一般財源)	0	0	0	0	0
									予算額	0	0	0	0	0
									(一般財源)	0	0	0	0	0
		(0)		0	0	0	0	0	決算額	0	0	0	0	0
				0	0	0	0	0	職員数	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
									単位) 事業費：千円					
									職員数：人					
		(0)		0	0	0	0	0	【業務】	日本赤十字募金業務				
				0	0	0	0	0		「赤い羽根」募金業務				
										歳末たすけあい募金業務				
【対象】	一般市民								【指標値】	上段：予算目標	下段：実績			
									【定量分析】：課題・現状分析					
									日本赤十字社・共同募金会事業の支援を行い、地域の援助活動を推進し募金・社資の普及運動を行う。					
									【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性					
									助け合い精神による地域の援助活動を推進する。					

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12 生活不安を少なくする	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	2 国民年金制度を支援する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	1202 国民年金被保険者及び受給権者を支援する	【基本計画区分】	203【担当課】 3924000 国民年金課

【目的】	安心して暮らせるようにする。	【背景】	国民の年金制度への不信の増大。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性	現状維持
				120201	国民年金事務受託事業		顧客に対する年金制度の周知、制度維持のための法定受託事務の継続。引き続き、年金制度のわかりやすい説明。年金情報の提供による顧客支援をすすめてまいります。

【今後の課題】
国の事業である国民年金制度の普及、推進の支援

【重要性】
国の制度の一部事務

【現状分析】
国民の年金制度への不信の増大。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
年間受給申請件数			3100	3100	3100	3100	3100
(件)			3201	2983	2979	2796	2916
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	12 生活不安を少なくする	【施策】	2 国民年金制度を支援する
【基本事務事業】	1202 国民年金被保険者及び受給権者を支援する	担当課:	3924000
【事務事業】	120201 国民年金事務受託事業	国民年金課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
法定受託事務の事務処理及び情報の提供による支援。	各種届出件数(件)	各種届出件数(加入・転入・変更・免除等)評価補正「目標=現状維持」	101000	101000	101000	101000	101000	計画額	4,632	4,571	3,948	6,000	4,000
			101021	98123	95873	95408	96116	(一般財源)	-119,121	-118,948	-6,415	-4,685	-4,685
			0	0	0	0	0	予算額	4,632	4,571	3,948	7,080	3,586
			0	0	0	0	0	(一般財源)	-119,121	-118,948	0	0	0
							決算額	3,591	3,800	3,449	6,794	3,201	
							職員数	10	9	11.75	11.55	10.7	
							単位) 事業費: 千円 職員数: 人						

【対象】
20歳以上の市民(厚生年金、共済年金等被用者年金各法による被保険者及びその配偶者は除く)

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析
国の事業である国民年金制度の普及、推進の支援を進めてきた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
国民年金事務は法定受託事務のため、現状維持とする。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12 生活不安を少なくする	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 死者の弔いを支援する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	1203 斎場を適正に管理する	【基本計画区分】	203【担当課】 4821000 高齢者福祉課

【目的】	故人の逝去を悼み、冥福を祈って別れを告げる儀式等の弔いを支援する。	【背景】	平成16年度より斎場業務を委託化している。平成17年度において小式場等施設整備を行なった。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性	事業拡大
				120301	北山会館・式場管理運営事業		老朽化しつつある火葬設備において、定期的な火葬炉の改修工事や付帯設備の修繕など整備を進めていく。
				120302	式場等施設整備事業		

【今後の課題】
 斎場に対するニーズの変化に対応した施設整備が求められている。北山会館の施設が老朽化しているので施設整備が求められる。

【重要性】
 市民生活には欠かせない重要な施設であり、適正に管理する必要がある。

【現状分析】
 平成19年度より指定管理者制度導入に伴い、コストの削減が図れた。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
苦情件数			10	10	5	5	5
(件)			6	1	0	0	0
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

【政策】	12 生活不安を少なくする	【施策】	3 死者の弔いを支援する
【基本事務事業】	1203 斎場を適正に管理する	担当課:	4821000
【事務事業】	120301 北山会館・式場管理運営事業	高齢者福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
市民生活に欠かせない重要な施設である斎場及び北山市民会館を適正に管理運営する。	利用者数(人)	斎場及び北山市民会館の利用人数	77000	77000	84000	84000	84000	計画額	76,499	120,908	132,637	122,933	127,032
			87085	91015	68885	109315	115755	(一般財源)	38,321	82,115	90,840	81,136	69,232
	修繕料(千円)	火葬炉及び北山会館の付帯設備の修繕料	3625	3880	3300	4000	2760	予算額	76,499	120,908	122,493	126,632	166,143
			4105	5340	6674	6527	2108	(一般財源)	38,321	82,115	84,169	68,832	109,378
								決算額	67,304	118,614	121,666	126,504	165,882
	火葬件数(件)	斎場における年間火葬件数	2772	2872	2972	3022	3022	職員数	17	5.5	4.5	6	0
			3072	3275	3293	3452	3738	【業務】	施設提供業務 施設整備業務 施設維持管理業務 斎場委託業務 管理代行業務				
【対象】	施設の利用者		【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績										

【定量分析】: 課題・現状分析
 平成19年度より指定管理者制度導入に伴い、コストの削減が図れた。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
 老朽化しつつある火葬設備において、定期的な火葬炉の改修工事や付帯設備の修繕など整備を進めていく。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12	生活不安を少なくする	【施策】	3	死者の弔いを支援する
【基本事務事業】	1203	斎場を適正に管理する	担当課:	4821000	
【事務事業】	120302	式場等施設整備事業	高齢者福祉課		
			会計区分	一般会計	計画区分
					計画事業
					204 戦略区分

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
斎場に対するニーズの変化に対応した施設整備を行う。	苦情件数(件)	北山会館に関する苦情件数	10	0	0	0	0	計画額	0	3,500	256,000	0	0
			6	1	0	0	0	(一般財源)	0	3,500	13,000	0	0
			0	0	0	0	0	予算額	0	3,500	260,000	0	0
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	3,500	0	0	0
			0	0	0	0	0	決算額	0	3,360	244,965	0	0
							職員数	0	0.5	1.5	0	0	
							単位) 事業費: 千円						
							職員数: 人						
【対象】							【業務】						
施設の利用者							設計業務						
							改修工事費						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

【計画事業】

【計画事業名】 北山会館施設整備事業

【節項コード】 204 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】 福祉のための基盤整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画		北山会館施設整備設計委託	北山会館施設改修工事		
実績		北山会館施設整備設計委託契約金額3,360,000円	北山会館斎場増築及び改修工事契約金額金 244,965,000円		

【政策】	12 生活不安を少なくする	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 死者の弔いを支援する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	1204 墓地計画を策定し、墓地の経営許可を適正に行う	【基本計画区分】	203【担当課】 4812000 保健福祉課

【目的】	故人の逝去を悼み、冥福を祈って別れを告げる儀式等の弔いを支援する。	【背景】	平成13年4月1日から、それまで県が担当してきた「墓地、埋葬等に関する法律」に基づく事務の一部が、千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例の一部改正を受けて、県内各市町村に権限委譲された。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性
				120401	墓地経営許可事業	

【今後の課題】
 昭和62年度から、募集を開始した白井聖地公園の墓地の販売については、平成16年度をもって新規募集を終了する。平成17年度からはその返還墓地の募集を行なうのみとなり、今後は、白井聖地公園に代わる墓地の供給方策を検討する必要がある。

【重要性】
 高齢化の進展に伴う墓地需要量の増大及び墓地に対する需要が変化しており、適切な墓地経営を行なうには、墓地計画の策定が必要である。

【現状分析】

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
対策会議の開催件数			1	1	1	0	0
(件)			1	1	1	0	0
			0	0	0	0	0
()			0	0	0	0	0

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12	生活不安を少なくする	【施策】	3	死者の弔いを支援する								
【基本事務事業】	1204	墓地計画を策定し、墓地の経営許可を適正に行う	担当課:	4812000									
【事務事業】	120401	墓地経営許可事業	保健福祉課										
			会計区分	一般会計	計画区分								
					計画事業								
					204 戦略区分								
【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
墓地等の経営が市民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他の公共の福祉の見地から支障なく行なわれることを目的とする。	許可件数(件)	許可件数	1	1	1	1	1	計画額	25	25	25	25	25
			1	1	1	2	3	(一般財源)	25	25	25	25	25
								予算額	25	25	52	25	26
								(一般財源)	25	25	52	25	26
								決算額	24	5	26	6	4
(0)			0	0	0	0	0	職員数	1.2	1.2	1.2	1.2	
			0	0	0	0	0	単位) 事業費：千円 職員数：人					
(0)			0	0	0	0	0	【業務】					
			0	0	0	0	0	【指標値】上段：予算目標 下段：実績					
【対象】	墓地等の経営を計画している宗教法人												
	【定量分析】：課題・現状分析						【担当部課評価】：最終結果・課題の改善策・今後の方向性						
	墓地または納骨堂の経営の許可に際しては、市民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他の公共福祉の見地から支障なく行う。また、墓地等の経営の継続性を確保し、使用者の安全性を確保する。						墓地または納骨堂の経営の許可にさいしては、市民の宗教的感情に適合し、且つ公衆衛生その他の公共福祉の見地から支障なく行う。また、墓地等の経営の継続性を確保し、使用者の安全性を確保する。						

【計画事業】

【計画事業名】 墓地需要調査事業(一部)

【節項コード】 204 【節名】 豊かな人生を支える福祉社会の実現

【項名】 福祉のための基盤整備

	H15	H16	H17	H18	H19
計画					
実績	許可件数 1件	許可件数 1件 事前協議済書 1件 事前協議事項変更協議 1件	許可件数 1件 変更許可件数 1件 事前協議済書 1件 事前協議事項変更協議 1件	許可件数 2件 事前協議済書 4件	許可件数 3件 事前協議済書 3件

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12 生活不安を少なくする	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 死者の弔いを支援する	【項】	福祉のための基盤整備
【基本事務事業】	1205 市営墓地を適正に管理する	【基本計画区分】	204【担当課】 4812000 保健福祉課

【目的】	故人の逝去を悼み、冥福を祈って別れを告げる儀式などの弔いを支援する。	【背景】	第1次ベビーブームによる核家族化が進み、市民の墓地に対する需要が急激に増加したことによる。	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
				120502	白井聖地公園管理運営事業	白井聖地公園については、白井聖地公園基金に更新管理料を毎年積立をしております。この基金を財源として事業運営しており、今日適正な事業運営をおこなっております。ただ、開設以来年数が経過している現状を考慮し、施設修繕及び施設利用者の増加に対応するための利便施設向上を図ります。この財源としては、返還墓地の再公募を計画的に実施する予定であります。
				120503	財政調整基金積立金	

【今後の課題】
今後予想されるランニングコスト等としては未承継の墓地が発生した場合無縁墓地へ改葬すること。使用者の生活状況による管理費の滞納者の墓地使用権の取消について施設の設備投資の時期から長期年数が経過していることにより計画的に補修をすること。

【重要性】
市民に対し宗教の制限のない墓地を廉価で供給し、安心して子孫に残せる墓地環境を守っていけるようにする。

【現状分析】
白井聖地公園の墓地公募は、平成16年度に終了しております。現在施設維持管理に要する経費については、墓地使用者が納付する管理料により適正に事業運営しております。当初の設備投資後年数が経過している現状を踏まえ、施設修繕費の財源として返還墓地の再公募を計画的に実施する予定であります。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
維持管理経費			100	100	100	100	100
(%)			100	100	100	100	100
()			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	12 生活不安を少なくする	【施策】	3 死者の弔いを支援する
【基本事務事業】	1205 市営墓地を適正に管理する	担当課:	4812000
【事務事業】	120502 白井聖地公園管理運営事業	保健福祉課	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 204 戦略区分 -

【目的】	白井聖地公園の墓地を使用している市民が、当聖地公園を快適に使用できるよう常に良好な環境の維持管理を目的とする。	【指標】	維持管理経費(%)	【指標概要】	管理運営事業/管理費・永代使用料	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
						100	100	100	100	100	計画額	88,985	80,743	53,260	49,542	84,608
						100	100	100	100	100	(一般財源)	1,841	2,116	-172	-663	0
											予算額	88,985	80,743	100,235	47,658	83,935
											(一般財源)	1,841	2,116	0	0	0
						150	180	0	0	0	決算額	89,136	79,723	96,257	47,256	82,406
						150	180	0	0	0	職員数	3.7	2.5	2.5	2.5	2.5
											単位) 事業費: 千円 職員数: 人					

【対象】
市民及び白井聖地公園を設置している白井市の市民

【指標】	再公募(%)	【指標概要】	再公募基数/返還墓地基数	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
				0	0	150	0	0
				0	0	150	0	0

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

市民に市営墓地を提供する目的で事業を立上げ昭和62年度より公募を開始し、平成16年度において事業計画の6808基の墓地の公募を終了し、現在は市営聖地公園の運営及び施設の維持管理を行っております。施設開園以来年数が経過している白井聖地の事業運営を図る為には、適切な管理施設の修繕及び更新が必要になります。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12	生活不安を少なくする	【施策】	3	死者の弔いを支援する
【基本事務事業】	1205	市営墓地を適正に管理する	担当課:	4812000	
【事務事業】	120503	財政調整基金積立金	保健福祉課		
			会計区分	一般会計	計画区分 一般事業 0 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
【目的】	()		0	0	0	0	0	計画額	63,700	70,740	37,000	0	0	
			0	0	0	0	0	(一般財源)	0	0	0	0	0	
									予算額	63,700	70,740	10,347	1	0
									(一般財源)	0	0	0	1	0
									決算額	0	0	808,346	0	0
									職員数	0	0	0	0	0
【対象】	()		0	0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0	0							

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12 生活不安を少なくする	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 死者の弔いを支援する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	1206 戦没者を追悼する	【基本計画区分】	203【担当課】 4824100 福祉事務所・援護担当室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性	現状維持
故人の逝去を悼み、冥福を祈って別れを告げる儀式等の弔いを支援する。		120601	戦没者追悼式開催事業	市として追悼の意を表し今後も継続していく。	

【今後の課題】
戦没者追悼式の開催方法を検討する。

【重要性】
我が国が、戦後、平和国家として飛躍的な発展を遂げた陰には先の大戦において多くの尊い犠牲があったことに思いを馳せ、これら戦没者の方々の尊い犠牲を永く後世に伝えるとともに、再び戦争の惨禍を繰り返すことのないよう恒久平和への誓いを新たにするとする趣旨の下に実施している。

【現状分析】
国、県の追悼式の状況を考慮しながら、市の追悼式を開催していく。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
国際紛争に対する関心を示す人の割合		(%)	0	48.6	0	0	56.5
			0	48.6	0	0	56.5
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	12 生活不安を少なくする	【施策】	3 死者の弔いを支援する
【基本事務事業】	1206 戦没者を追悼する	担当課:	4824100
【事務事業】	120601 戦没者追悼式開催事業	福祉事務所・援護担当室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
松戸市出身の戦没者約1,800余柱、これらの戦没者を追悼し、恒久平和を祈念するため。	参加人数(人)	参加人数	450	450	430	400	400	計画額	1,670	1,670	1,469	1,469	1,390
			521	480	483	443	409	(一般財源)	1,670	1,670	1,469	1,469	1,390
	()		0	0	0	0	0	予算額	1,670	1,670	1,469	1,390	1,345
			0	0	0	0	0	(一般財源)	1,670	1,670	1,469	1,390	1,345
			0	0	0	0	0	決算額	0	1,149	1,171	1,166	1,085
								職員数	1	1	1	1	1
								単位) 事業費: 千円 職員数: 人					
【対象】								【業務】					
松戸市遺族会			0	0	0	0	0						
			0	0	0	0	0						

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

先の大戦における戦没者に対し、平和を記念し遺族と共に市として追悼の意を表していく。

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性

市として追悼の意を表し今後も継続していく。

平成20年度 第2次実施計画期間 事後評価 整理表

2009/02/03

【政策】	12 生活不安を少なくする	【節】	豊かな人生を支える福祉社会の実現
【施策】	3 死者の弔いを支援する	【項】	日常生活および緊急時の安全・安心性の向上
【基本事務事業】	1207 行旅死病人を弔う	【基本計画区分】	203【担当課】 4824100 福祉事務所・援護担当室

【目的】	【背景】	コード	配下事務事業名	【担当部課評価】:最終結果・課題の解決策・今後の方向性 現状維持
故人の逝去を悼み、冥福を祈って別れを告げる儀式等の弔いを支援する。		120701	行旅死病人取扱事業	行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき今後も取り扱う。

【今後の課題】
高齢ホームレスへの対策が迫られており、国、県と連携し対策を講じて行く。

【重要性】
行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき取り扱う。

【現状分析】
行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき今後も取り扱う。

【指標】	上段: 予算目標	下段: 実績	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]
保健・医療・福祉に関する安心やゆとりの満足度		(%)	0	19.7	0	0	19.7
			0	19.7	0	0	19.7
			0	0	0	0	0
			0	0	0	0	0

【政策】	12 生活不安を少なくする	【施策】	3 死者の弔いを支援する
【基本事務事業】	1207 行旅死病人を弔う	担当課:	4824100
【事務事業】	120701 行旅死病人取扱事業	福祉事務所・援護担当室	会計区分 一般会計 計画区分 一般事業 203 戦略区分 -

【目的】	【指標】	【指標概要】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	【事業費】	[H15]	[H16]	[H17]	[H18]	[H19]	
市において費用を立て替え支弁する。	死亡人数(人)	死亡人数	17	25	30	30	30	計画額	1,436	1,436	1,594	3,374	2,768	
			17	20	19	13	16	(一般財源)	911	911	1,389	3,006	2,525	
									予算額	1,436	1,436	1,594	2,926	2,768
									(一般財源)	911	911	1,389	2,683	2,180
									決算額	1,522	3,447	2,554	1,401	0
									職員数	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5
【対象】 住所不定の病人及び身元不明者の死亡者	()		0	0	0	0	0	【業務】						
			0	0	0	0	0							

【指標値】上段: 予算目標 下段: 実績

【定量分析】: 課題・現状分析

【担当部課評価】: 最終結果・課題の改善策・今後の方向性
行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき今後も実施していく。